

「じょもじょも」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
AOMORIじょもじょもひろば	青森県民だけでなく、県外の方々、そして海外の方幅広く愛されるように思いを込めこの愛称にしました。「AOMORI」をローマ字表記にした理由は、全世界の方々に「青森」を認識してもらうためです。「じょもじょもひろば」を平仮名としたのは、子供たちでも読みやすいように、そして日本語に少し馴染みのある外国人でも簡単に読むようにするため、このような表記としました。また「じょもじょも」は縄文にかけていますが、擬音語のようなもののため、とても覚えやすく、馴染みやすいと考えております。
AOMORIじょもじょもルーム	縄文という言葉や、テンポよく、楽しくしてみました。
JOMO JOMO	響きの最初に頭に浮かんだから
JOMO×2 Sta. (じょもじょもステーション)	外国人観光客を意識して、アルファベット表記にしました。表記はおしゃれでかっこいいですが、音声はかわいらしく親しみが感じられると思います。
JOMO・JOMO(じょもじょも)	親しみやすく言いやすい。外国人にも覚えてもらいやすそう。堅苦しくなく気軽に体験できる雰囲気アピールしたい。
J o m o ☆ J o m o	読み方はジョモジョモです。ワクワクやドキドキやウキウキと同じように、心が踊る愛称を考えました。☆を加えたのは、今私達がみている星を縄文時代の人達もみていたであろうと思いを馳せ、☆で繋がっていることを表現しました。
JomoJomo	Jomoには縄文の意味をこめました。青森に住んでいる人から、外国からの観光客も呼びやすく、読みやすいように考えました。
JOMoJOMo	読み方は、[じょもじょも]です。縄文の文字からとりました。親しみやすく、心躍るような感じがすると思います。
JomoJomo	小さい子でも、縄文に興味を持てるように、呼びやすくできるよう、又、みんなが覚えやすい言葉を考えました！
JomoJomo	縄文をイメージさせる響きと全世代に親しまれて、覚えやすい名前かなと思います
jomojomo	縄文文化のことを楽しく学び、知る事ができる施設。縄文のjomoをjomojomoと2回繰り返すことで楽しい雰囲気を感じられるような施設になれば良いなという思いをこめました。また、ローマ字にしたのは外国の観光客の方にもわかりやすいよう、多様性に配慮しました。
JomoJomo	縄文の縄を「どもども」風にした
JOMOJOMO	「縄文」遺跡「郡」を紹介する施設なので、縄文の「JO」「MO」を重ねることで「郡」の複数感を感じてもらえればと思って提案しました。語呂の良さも感じてもらえればと思います。

jomo-jomo aomori	青森の縄文 ゴロよく
JOMOJOMOあおもり	縄文が一杯、一杯つまっているところを表現し、小さなお子さんでもわかりやすい、呼びやすい名前にしました！
JomoJomoイセッキー	縄文と遺跡群を組み合わせ、みんなが呼びやすい名前にしました。
jomojomoランド	みんなが読めて何かな？と軽い感じで入館できるようにかわいい名前にしました。
JOもJOも（じょもじょも）	縄文遺跡群を親しみやすく可愛らしいイメージの名称人間することで、世界遺産縄文遺跡群を広くアピール出来ると考えました。
jyomo jyomo	『じょもじょも』と読みます。繰り返すことで小さな子でも覚えやすく、可愛いさもあるかなと思いました。
あおJOMOjomo	じょうもんにするよりも、じょもじょもという響きが可愛いなあと思い、JOMOjomoにしました。
あおもり 縄文館 じょもじょもーん	青森らしく、誰にでも分かりやすく、じょもじょもーんという可愛いキャラクターもいたらいいなと思います。観光客の方にも何の施設か分かりやすいと思います。青森はあえてひらがなで、でも、縄文の事を色々知って欲しいので縄文館と分かりやすく、ゆるキャラをイメージできるようなじょもじょもーんという施設名がいいなと思いました。
あおもりjomojomo	親しみやすく、響きのいい名前にしました
あおもり縄文ひろば じょもじょも	子供から老若男女、外国人にも親しみやすく呼びやすい名前がいいと思いました
じょもじょも	覚えやすく可愛らしい、たくさんの人達に遊びに来て欲しい、という思いを込めて考えました
ジョモジョモ	縄文時代に触れてほしくて。
ジョモじょも	縄文（じょうもん）のじょもを2つ重ねることで、リズムカルの良さ楽しさ、かわいらしさをイメージしました。
ジョもジョも	縄文からとって、「も」を平仮名にする事で津軽弁っぽい雰囲気にし、外国人にも分かりやすい感じにしてみました。
じょもじょも	縄文に近いワーディングで軽やかに親しみあるネーミング
じょもじょも	
じょもじょも～青森JOMON広場～	メインの愛称である「じょもじょも」は子供から年配の方まで幅広く、馴染みやすいようにしました。サブタイトルは、外国人でもわかりやすいように「JOMON」と表記することで、国籍年代問わず親しみを持ってもらえるかと思っています。駅前の新商業ビルなど、これから青森駅は更に活性化されると思うので、今回提案させていただいた愛称がその後押しになることを望んでおります。よろしく願いいたします。
ジョモジョモeight(ジョモジョモエイト)	駅に設置されるということで、観光客の興味を引き、施設に入ると正しい意味が分かるネーミングにしました。あとは、言葉の響きの良さや言いやすさを重視しました。
じょもじょもあおもり	覚えやすく興味を持ってもらえそうだったから

じょもじょもタウン	縄文という言葉を実可愛らしく、親しみやすい言葉にしました。タウンであたたかさを出せたと思います。
ジョモジョモパーク	北海道の縄文遺跡、青森の縄文遺跡の二つの縄文文化を感じられるので「JOMON（ジョーモン）」を二つ重ね、公園や自然公園を意味する「PARK」を付けて施設名としました。ジョモジョモとすることで聞きなれずとも言いたくなるフレーズ（きゃりーぱみゅぱみゅのような感じ）に人々の関心を惹きつけ、話題化しやすくさせたのもこだわりポイントです。
じょもじょも広場	
じょもじょも広場	みんなで楽しく集まれる場所になってほしいからです。
ロマンあふれる青い森JOMOJOMO	太古に思いを馳せる。大昔の暮らし、人々の思い。自分をそこに住まわせてみる。想像はロマンだ。
青いじょもじょもの森	施設の真中に、まるで大木がある森の様で、その森に沢山の観光客や地元の方が気軽に集まって、世界遺産である青森の縄文遺跡を知ってもらえたらいいなと思い、明るいネーミングを考えました。
青森縄文館じょもじょも	例にあった[じょもーん]が気に入り、同じくらい呼びやすい愛称と見つけました。
縄文駅ナカぱーく jomojomo	駅ビル内にあることから「駅ナカ」とつけ、縄文からjomojomoと楽しいネーミングにした。
縄文体験広場 じょもじょもあおもり	大人にも子どもにも親しみやすい名前にしたいなと思って「縄文」という言葉をオノマトペのように表してみました。小さなお子さんと親御さんたちが「じょもじょも」と呼んでも可愛らしいなと思い、語感が楽しくなるような名前を自分なりに考えてつけました。